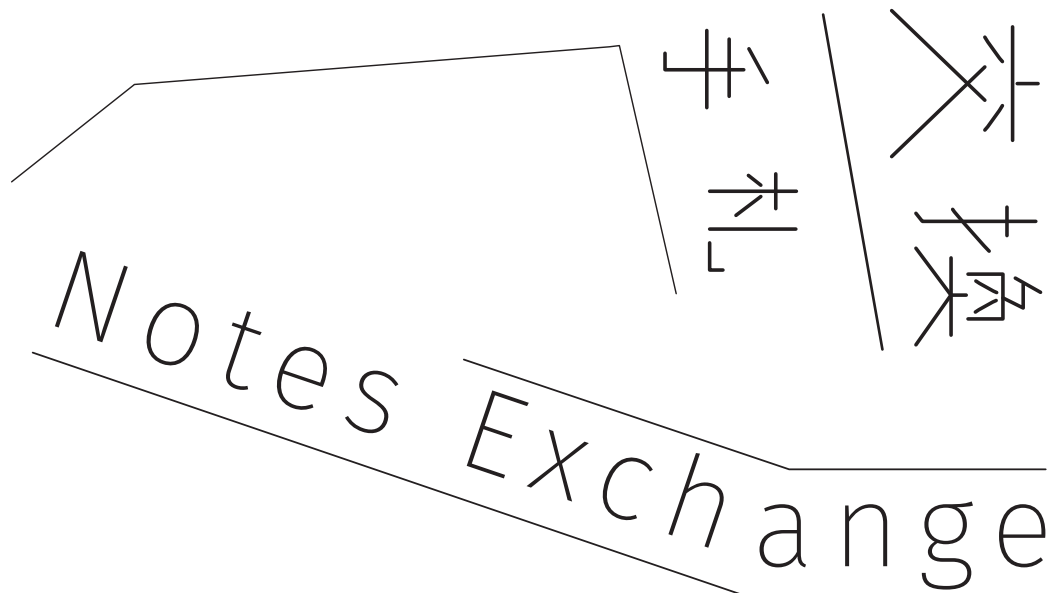


日本と台湾  
さらに深く  
より強く  
つながり、ひらく



三重県文化会館 プロデュース  
第七劇場 日台国際共同プロジェクト  
Notes Exchange vol.2 (2年目・2017年度)

プロジェクト全体に関するお問い合わせ：第七劇場

5142113 三重県津市美里町三郷2104 tel: 070-1613-7711 (担当直通・10~18時)  
mail: info@dainanagekijo.org website: http://dainanagekijo.org

日本公演へのお問い合わせ：三重県文化会館

5140061 三重県津市一身田上津部田1234 tel: 059-233-1100 (事業課)

台湾公演へのお問い合わせ：

Shakespeare's Wild Sisters Group (莎士比亞的妹妹們的劇團)  
mail: swsg95@gmail.com 台北市中正區重慶南路一段88號3樓

## プロジェクト主旨

三重県文化会館プロデュースによる、第七劇場と台湾のカンパニー“Shakespeare's Wild Sisters Group”との国際共同プロジェクトは2年目を迎えました。

1年目の昨年は、台湾・台南市にある台南文化センターで開催された「新舞台芸術節2016」というアートフェスティバルに招かれ台湾公演をおこない、三重県文化会館で日本公演をおこないました。台日両公演で、たくさんの方々に台日の舞台芸術を通じた文化交流の成果と、現代演劇における国際共同の可能性を感じていただけたことで、このプロジェクトの意義をあらためて感じることができました。

また、私たちの拠点である津市美里町にある劇場 Théâtre de Belleville にて実施した台湾人女優・蔡亘晏さんによるワークショップにお越しいただいた前葉泰幸津市長、そして私と蔡亘晏さん、三重県文化会館・松浦氏とともに表敬訪問させていただいた鈴木英敬三重県知事、お二方ともこのプロジェクトの価値を理解していただき、期待とともに応援したいとお言葉をいただいたことは、大変うれしいことでした。

2年目の今年は、イギリスの作家ジョージ・オーウェルが1949年に発表したSF小説の金字塔を、台湾側の作家・演出家である王嘉明氏が舞台用に翻案し、その王氏と私が共同で演出します。出演は台日の俳優が共演します。加えて、日本側俳優に「静岡県舞台芸術センター（SPAC）」にて活躍する名優、永井健二氏をゲストとしてお迎えします。ゲスト出演という形ではありますが、三重県と静岡県との二つの県立劇場が協力するという新しい可能性にもチャレンジしています。日本公演は三重県文化会館にて公演し、台湾公演は台北市立劇場である「水源劇場」にて公演します。

東アジアの情勢は日々変化しています。東アジアという広域だけではなく、台日のそれぞれにおいても、この1年で政治・経済・国際関係などさまざまな局面で変化がありました。良い変化もありますが、日々のニュースを見聞する限り、芳しくない変化も少なくありません。まるで「1984」の中の世界が現実になったようなニュースに触れるたびに、ジョージ・オーウェルの先見性に驚き、「1984」がディストピア小説とも呼ばれていることを考えると、私たちの未来も明るい部分だけではないのだと痛感します。彼が描いた世界は、私たちの未来のひとつであることはまちがいありません。それは決してニュースの中だけの話や、遠い国の話でもなく、私たちの未来なのです。

国家の関係であれ、人間関係であれ、ほとんどの争いの原因は「違い」にあります。信じていること、持っているもの、持っていないもの、好きなこと、嫌いなこと、色、強さ、弱さ…、さまざまな「違い」が争いを生み出しています。では、その違いがなくなれば、争いはなくなるのでしょうか。そして、なんの違いもない、均質な世界、社会、そして人間は、はたして楽しいのでしょうか。原作「1984」の中では、その均質性を保つために人々は監視され、管理される世界が描かれています。そのコントロールから外れたものは消去され、社会の均質性が保たれます。はたしてその世界はしあわせでしょうか。

実は正確に言えば、その違いが争いを生み出すわけではありません。違いを認め合うこと、許し合うことができないからこそ、争いが起きます。違いそれ自体が決して悪なのではありません。その違いを受容できないことが非情な行為や悲しい結果を生み出してしまふのです。

そして言い換えれば、違いがあるからこそ、私たちは誰かに憧れることができ、興味や関心、そして好意を持つことができます。違いがあるからこそ、言葉を重ね、話し合うことができるし、楽しさやしあわせを感じることもすらあります。もちろん、なかなか違いを理解することが難しい場合もあるでしょう。しかしその違いを理解しようとする努力の中に、自分を人生を豊かにするきっかけがあることも多々あります。

2年目を迎えた、この国際共同プロジェクトを進めている中で、私は確信しています。私たちの未来をこれ以上暗く不穏なものではなく、ユートピアとまではいかずとも、少しでも明るい未来につなげられるのは、今を生きる私たち以外にいません。違いを許すことは、大切な何かを失うことではありません。ちょっとした勇気が必要なときもあるかもしれませんが。しかしその勇気によって悲しい結果を避けられるはず。違いを認め、楽しむこと。それが私たちに必要なことであり、自由を守り、現在を明るい未来につなげるアクションです。

この国際共同プロジェクトが、違いを楽しむきっかけになればと、切に願います。

第七劇場 演出家 鳴海康平

## プロジェクトのこれまで (1年目・2016年度)

原作：ドストエフスキー 美術：鳴海康平 (第七劇場)

台湾作品 Shakespeare's Wild Sisters Group

### 地下室の手記

構成・演出：王嘉明 (Chia-Ming WANG)

出演：Fa、王世緯、王安琪、張耀仁  
 + 佐直由佳子 (第七劇場)

舞台監督：鄧湘庭

照明：王天宏

音響：劉韋志

衣装：靳萍萍

演出アシスタント：盧琳

プロデューサー：新田 幸生

日本作品 第七劇場

### 罪と罰

構成・演出：鳴海康平

出演：小菅紘史、伊吹卓光 / 八木光太郎、堀井和也  
 + 蔡亘晏 (Hana TSAI)  
 (Shakespeare's Wild Sisters Group)

照明：島田雄峰 (Lighting Staff Ten-Holes)

音響：平岡希樹 (現場サイド)

## ツアー日程

- 日本公演 平成28年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

会場：三重県総合文化センター

三重県文化会館 小ホール

会期：2016年11月 26日 (土)・27日 (日)

主催：三重県文化会館 [指定管理者 (公財) 三重県文化振興事業団]

共催：レディオキューブFM三重

助成：文化庁

製作：三重県文化会館 第七劇場 Shakespeare's Wild Sisters Group

- 台湾公演 新舞台藝術節 2016 公式プログラム

会場：台南文化中心 原生劇場 (台南市)

会期：2016年11月 18~20日

主催：中國信託文教基金會

莎士比亞の妹妹們的劇團 第七劇場

助成：台北市文化局 國藝會

財團法人建弘文教基金會 信源企業股份有限公司

財團法人許遠東先生暨夫人紀念基金會

公益財団法人交流協会

指導単位：文化部

台北市文化局 財團法人建弘文教基金會 NSFG Foundation 許遠東先生暨夫人紀念文教基金會  
 文化部 新舞台藝術節 2016 THE ARTS



「地下室の手記」



「罪と罰」

# Notes Exchange

三重県文化会館プロデュース  
第七劇場 日台国際共同プロジェクト  
Notes Exchange vol.2 (2年目・2017年度)

## プロジェクトのこれまで (1年目・2016年度のつづき)



台湾側演出家による日本滞在ワークショップ



日本側演出家による台湾滞在ワークショップ



鈴木英敬三重県知事への表敬訪問



前葉泰幸津市長のワークショップ訪問



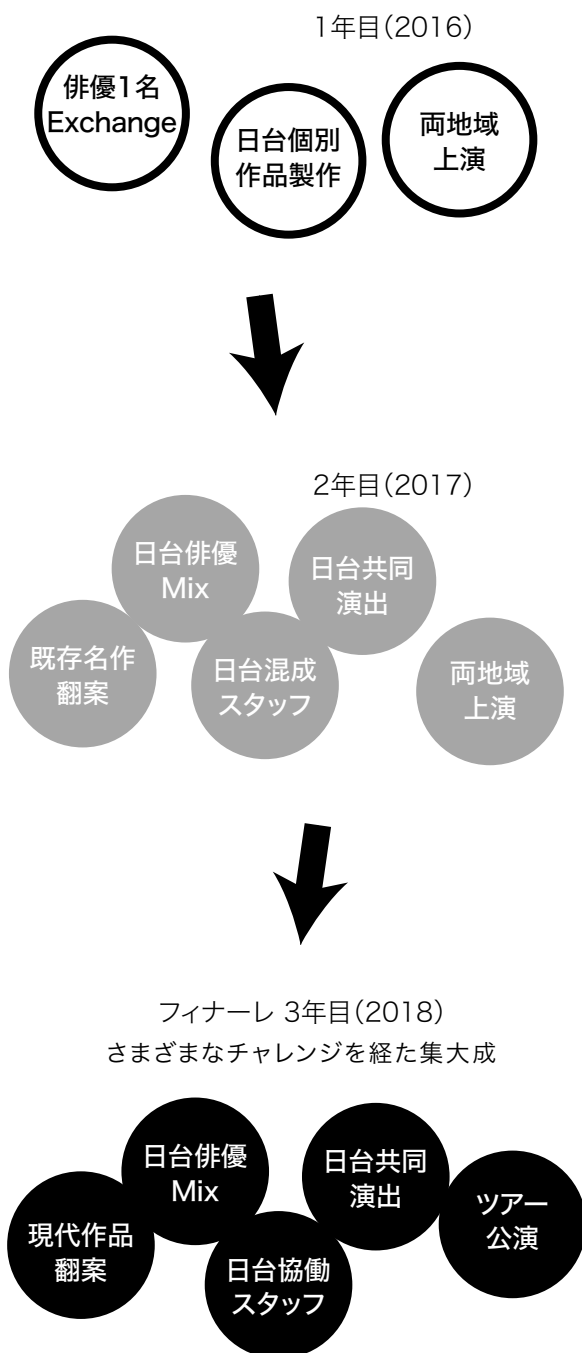
vol.1 フライヤー (表)



日本公演カーテンコールと終演後の集合写真

## プロジェクトの今 (2年目・2017年度)

『1984』 原作：ジョージ・オーウェル / 第七劇場 × Shakespeare's Wild Sisters Group



戯曲 = 名作翻案  
 ×  
 演出 = 日台共同演出  
 ×  
 俳優 = 日台俳優競演

プロジェクト2年目となる2017年は、村上春樹、ジョージ・ルーカス、デヴィッド・ボウイなど、多くの表現者に大きな影響を与えたSF小説の金字塔「1984」を王氏が翻案し、王・鳴海の共同演出で舞台化。出演は台湾と日本の両カンパニーの俳優に加え、世界的活動を続ける日本随一の県立劇場「静岡県舞台芸術センター SPAC」でさまざまな作品に出演する俳優・永井健二をゲストに迎えます。テクニカルスタッフも、台日混合のチームでクリエイションを行います。

翻案：王嘉明

演出：王嘉明・鳴海康平

出演：《台湾側》

Fa

王世緯 Jasmine WANG

王安琪 Angie WANG

張耀仁 Yao-Jen Chang

蔡亘晏 Hana TSAI

崔台鎬 Taihao TSUEI

《日本側》

佐直由佳子 Yukako SAJIKI

菊原真結 Mayu KIKUHARA

小菅紘史 Hiroshi KOSUGE

伊吹卓光 Takamitsu IBUKI

永井健二 (SPAC-静岡県舞台芸術センター) Kenji NAGAI

舞台監督：鄧湘庭

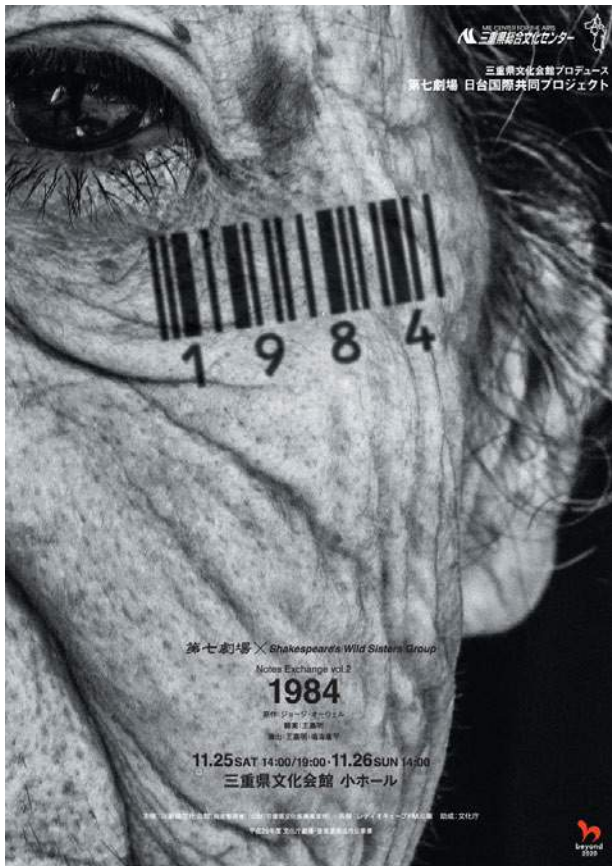
照明：島田雄峰

音響：平岡希樹

衣装：斬萍萍

プロデューサー：新田幸生

## プロジェクトの今 (2年目・2017年度)



日本公演 フライヤー (表)

### 1984

ジョージ・オーウェルが1949年に発表。村上春樹、ジョージ・ルーカス、デビッド・ボウイなど、これまでも多くのアーティストに大きな影響を与えたSF小説の金字塔。ディストピア小説の傑作としても知られ、世界中の数々の文学作品ランキングに選出される。全体主義による管理・監視社会の恐ろしさが描かれ、アメリカではトランプ大統領の就任後に再ブームが起こる。

核戦争により、オセアニア・ユーラシア・イースタシアの3つの大国によって統治されている世界。そのオセアニアのロンドンが舞台。テレスクリーンなどによって、市民はほとんどの活動が監視され、生活の隅々まで管理されている。自分自身の考えを持つことを禁じられている中、歴史の改竄を業務とする「真理省」の部署で働く主人公ウィンストンは、古道具屋で買ったノートに自分の考えを記すというタブーを犯す。国家体制に従いながらも疑惑を膨らませるウィンストンが取る行動が、彼を破滅させてしまう。

## ツアー日程

- 日本公演 平成29年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

会場：MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター

三重県文化会館 小ホール (約150席)

会期：2017年11月 25日 (土) ・ 26日 (日)

主催：三重県文化会館 [指定管理者 (公財) 三重県文化振興事業団]

共催：レディオキューブFM三重

助成：文化庁

製作：三重県文化会館 第七劇場

Shakespeare's Wild Sisters Group



- 台湾公演

会場：台北市 水源劇場 (約300席)

会期：2017年12月 29～31日

主催：莎士比亞の妹妹們的劇團 第七劇場

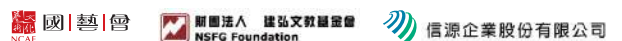
助成：國藝會 財團法人建弘文教基金會

信源企業股份有限公司 YMF

財團法人許遠東先生暨夫人紀念基金會 讀人館

廣達電子股份有限公司 廣藝基金會

指導単位：文化部



製作：三重県文化会館

第七劇場 Shakespeare's Wild Sisters Group

## ジョージ・オーウェル George Orwell (1903-1950)

植民地時代のインドに生まれる。ビルマで警察、パリでルポライターとして働き、スペイン内戦にへ兵士に志願し戦線に参加。その後、BBCに入社。1945年、スペイン内戦での経験をふまえ、全体主義やスターリニズムへの批判を寓話的に描いた「動物農場」を発表。これによって一躍国民的作家となる。1947年、結核にかかりスコットランドのジュラ島に移住し、「1984」を書き上げた翌年の1950年、ロンドンで死去。



### Shakespeare's Wild Sisters Group (莎士比亞的妹妹們的劇團)

1995年夏に設立。「シェイクスピアの妹たち」の意である劇団名は、イギリスの作家ヴァージニア・ウルフの『自分だけの部屋 (A room of One's Own)』の登場人物が由来。独創的な美学とスタイルを模索し続け、毎年実験的な新作の発表と国内外との文化交流を行う。1997年以降、多くの国・都市に招かれ、これまでに香港、マカオ、北京、青島、釜山、東京、ベルリン、シンガポール、神戸、パリ、アヴィニオンなどで公演。

<http://www.swsg95.com.tw/>



### 第七劇場

1999年、演出家・鳴海康平を中心に設立。主に既成戯曲を上演し、言葉の物語のみに頼らず舞台美術や俳優の身体とともに多層的に作用する空間的なドラマが評価される。国内外のフェスティバルなどに招待され、これまで国内20都市、海外4ヶ国6都市（フランス・ドイツ・韓国・台湾）で作品を上演。2014年、東京から三重県津市美里町に拠点を移設し、倉庫を改装した新劇場 Théâtre de Bellevilleのレジデントカンパニーとなる。 <http://dainanagekijo.org>



### 王 嘉明 (ワン・ジャミン Chia-Ming WANG)

20年以上、先進的な演劇を製作し続け、常に伝統と革新、大衆性と前衛性を融合させた作品を発表。その作品は核心を失うことなく、広く市民に享受されている。表現の限界を拡張するだけではなく、総合芸術としての演劇の定義を豊かにするために、ジャンルを越境してアーティストと協働。演劇に加えて、広告CMのアシスタントや、ミュージックビデオ、ファッションショーのディレクター、高雄ワールドゲーム2009のオープニングアクトのディレクターを務める。台新芸術賞(2001)など受賞多数。



### 鳴海 康平

第七劇場 代表・演出家。Théâtre de Belleville 芸術監督。1979年北海道紋別市生まれ。三重県津市在住。早稲田大学在籍中の1999年に劇団を設立。「風景」によるドラマを舞台作品として構成。国境を越えることができるプロダクションをポリシーに製作し、ストーリーや言語だけに頼らないドラマ性が海外で高く評価される。ポーラ美術振興財団在外研修員(フランス・2012年)として1年間渡仏し活動。帰国後2013年に日仏協働作品『三人姉妹』を新国立劇場にて上演。



### 新田 幸生

日本生まれ台湾育ちの独立プロデューサー、国立台北芸術大学大学院アートマネジメント修士課程卒業。フリーの舞台制作者として、演劇とダンスの舞台制作やフェスティバルの制作に関わり、台北を中心に日本やアジアとの国際交流に深めるプロジェクトを数多く手がける。